

協働提案事業の評価について

NPO等活動推進協議会の評価結果は以下のとおりです。

平成28年度 協働提案実施予定事業（27年度新規提案）

事業名	空き店舗のデータベース作成と商店街・創業者のマッチング事業	
実施主体	提案団体名	特定非営利活動法人 杉並中小企業診断士会
	担当課	区民生活部 産業振興センター 商業係
事業目的	杉並区商店会連合会、各商店街と協働し、出店希望者と空き店舗所有者とのマッチングを行い、空き店舗の解消と商店街の活性化を図る。	
総合評価	C1	

【付帯意見】

提案書類審査結果および公開プレゼンテーションに基づき、杉並区NPO等活動推進協議会は、協働テーマ「空き店舗のデータベース作成と商店街・創業者のマッチング事業」にかかる「特定非営利活動法人杉並中小企業診断士会（以下「診断士会」という。）」および「杉並区区民生活部産業振興センター商業係」の協働提案実施事業について、「標準的である」と評価した。以下において、評価項目ごとの評価結果と若干の意見を付記した。

提案団体および区担当課の課題・ニーズ把握については、空き店舗の課題に取り組むことで、まちの衰退を防ぎ、公共的利益が得られるとして事業の必要性を評価した。商店街を活性化させたい商店側と、店舗の貸借について店舗創業者（貸主）の間の考えのミスマッチを解消しようとする事業である。ただし、区内の商店街というマクロ的な捉え方ではなく、区内の商店街でも相当の地域差があることにも配慮した、地域別（ミクロ的）の課題やニーズの把握を検討すべきであるとの意見が出されている。

設定された目標については、目標設定されている点は評価できるが、1年目としては高い、どのような展開されるか未知数の部分が多く、その実効性を不安視する意見がある。さらに、空き店舗数を単に減らす数的側面だけでなく、その商店街ごとに必要とされる店舗の種類などを含めたビジョンを持ち、中心市街地活性化のためのマッチングをもすべきであるとの意見がある。

協働の効果については、協働があつてこそ空き店舗の課題に取り組むことができ、診断士会の強みを生かした効果が得られる可能性がある。一方で、店舗創業者にこの事業の認知度の促進を図れる点ぐらいで、区との協働の有効性を疑問視する意見もある。

地域資源の活用については、商店街の活性化には地域住民を参加させ、さらに出店申し込み者を支援しマッチングすることが重要である。

区民満足度については、空き店舗問題の解消は商店街の方だけでなく、周辺住民にも利益があるものと考えられる。そのために、まずは先事例（モデルケース）を作ることによって区民の理解を進め、区民満足度を向上させることを期待したい。

団体の事業実現力および団体の事業組織力については、創業支援のエキスパート集団として実績もあり、提案団体の有する経験知、専門知が十分活用されると判断した。ただし、事業そのものは初の試みであり、過去の実績からどれほどの実力が発揮されるかは未知数であると不安感を示す意見があつた。

計画性については、事業計画等はできているが商店街の活性化自体が難しい課題なので、チャレンジ商店街の目標数がやや高いように思われる。1年目は商店街の数を目指すより、モデルとなる成功事例となりそうな商店街を数カ所選択すべきではないだろうかという意見が出されている。

経済性については、アドバイザー謝金と出店者支援アドバイザー謝金の相違が理解しにくい点、HP製作費等関連支出の金額が少ないなどの疑問点は残るものの、全体としては明確である。また、事業経費について、団体負担額が50%を超えており、本事業に関する団体の意気込みを評価する。

創造性・新規性については、今まで個別に創業者の相談を受けて行っていたものを、商店街も巻き込み、空き店舗情報も集約して仕組み化するという点では新規性はある。

継続性・波及性については、モデルケースを作れば、全区的な展開の可能性が高まると思われる。この仕組みを使って出店できた創業者をサービスの利用者（受身なまま）ではなく、活動の発展や継続に関わる側になり、さらに可能性が広まることを期待したい。

最後に、評価項目以外の意見を注記したい。

空き店舗の問題は大きな課題であり、提案団体と杉並区との協働する当該事業において若手創業者が診断士会に相談し、空き店舗を活用してスタートアップがはかれ、商店街も活性化するというモデルの構築を期待したい。

※評価項目及び総合評価基準は裏面「協働提案評価集計表」のとおり

平成28年度協働提案実施予定事業

事業名	空き店舗のデータベース作成と商店街・創業者のマッチング事業
-----	-------------------------------

提案団体名	特定非営利活動法人 杉並中小企業診断士会
-------	----------------------

担当課	区民生活部 産業振興センター 商業係
-----	--------------------

No.	評価項目	評価のポイント	評価
1	課題・ニーズ把握	地域の課題・区民の要望を的確に捉え、課題の解決によって公共的利益が得られるか。	B3
2	目標設定	課題解決のビジョン、具体的な目標設定があるか。	C2
3	協働の効果	区や団体の単独実施よりも、協働で事業等を実施することで、より質の高いサービスが提供できるなど、より効果が得られるか。	C1
4	地域資源の活用	地域資源(自然環境、産物、施設、文化、歴史等)を有効に活用しているか、また、地域の人材を活用しているか。	B3
5	区民満足度	協働で事業が行われることが区民の理解を得られ、また、事業の実施により区民の満足度が向上するか。	C1
6	団体の事業実現力	提案団体は、事業を実施するための必要な知識・経験・実績・特性(強み)を有しているか。	C1
7	団体の事業組織力	提案団体は、事業を実施するための実施体制(人員配置、財務状況、他団体との協力ネットワーク等)を有しているか。	C1
8	計画性	事業計画・スケジュール・実施場所等が実行可能なものとなっているか。	C2
9	経済性	事業経費の規模、資金計画、経費分担、経費内訳、算出根拠等が明確かつ適切か。	B3
10	創造性・新規性	新しい発想、アイデアがあり、課題解決に向け積極的なチャレンジ姿勢を持つなど、将来への期待感があるか。	C1
11	継続性・波及性	一時的な事業で終わるのではなく、将来的に発展・継続する可能性があり、地域への波及効果が期待できるか。	C1
総合評価 (評価員6名の平均)			C1

※委員評価点

A…特に期待できる(5点) B…期待できる(4点) C…標準的である(3点)

D…あまり期待できない(2点) E…期待できない(1点)

※総合評価基準

A	B1	B2	B3	C1	C2	C3	D1	D2	D3	E	
特に期待できる	←期待できる→			←標準的である→			←あまり期待できない→			期待できない	
5~	4.44	4.14	3.74	3.44	3.14	2.74	2.44	2.14	1.74	1.44	
	4.45	~4.15	~3.75	~3.45	~3.15	~2.75	~2.45	~2.15	~1.75	~1.45	~1